

# 質 問 書

2020年10月15日

「ウガンダ国送電系統保護能力向上プロジェクト」

(公示日:2020年9月30日/公示番号:20a00215)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	【①企画競争説明書】 p.22および p.23 (5)事業のフェーズ分け及び契約の期分け	P22では、「2020年12月から2021年6月(想定)までの6か月間を詳細計画策定フェーズとする」、とされており、P23では「2020年12月から2022年2月」とされています。 詳細計画策定フェーズは2020年12月から2022年2月との解釈でよろしいでしょうか。	詳細計画策定フェーズは「2020年12月から2021年6月」を想定しています。P23の「2020年12月から2022年2月」の期間(第一期)は、詳細計画策定フェーズに加えて、「成果3にかかる活動のうち、成果2で完了する機材調達を必要としない活動」の実施期間を含めた活動期間を想定しています。
2	特記仕様書1.(5)事業フェーズの分け及び契約の期分け	第一フェーズにて詳細計画を決める際、当初想定している内容以外の活動が必要となった場合は、活動内容の追加も想定されていますか。	活動の追加及び削除を想定しています。詳細計画策定フェーズにおける調査の結果、当初想定から追加が必要とされる活動や、不要と判断される活動があれば、発注者との相談のうえ、柔軟に変更を行う予定です。
3	特記仕様書6.(3)③調達資材の据付支援	本件受注者は貴機構の立合検査員支援を想定されているが、機器据付にかかわる立合は連続した日程での立合でないことが想定されます。 本立合支援は、日本の技術者の指示を受けた注釈22に記載のローカルリソース(現地のエンジニア)による立合支援を想定されていますか。	機器据付全体の工程に係る立合支援については、ローカルリソースの活用を想定しています。一方、機器据付の最終段階での検査は、受注者自身の立合を想定しています。なお、ローカルリソースの活用にあたっては、現地作業の安全管理に十分注意願います。

以上